

北浦村十年のあしあと

十二月二十四日は「北浦村十周年記念祝賀」が中学校の体育館で催されました。この機会に村行政の足跡をふりかえって見ることも意義のあることと思います。

四月一日に足定した村役場は、旧津沼村長田田一氏を事務執行者として、総務、財務、経済、厚生、の四課制を設置し他に武田支所を要所を置いて、スタートいたしました。

五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

好調なスタートの反面には幾つかの問題もあり旧村より引継いだ赤字の解消もその一つ、また、庁舎建設、武田中学校増築、道路改修などいづれも重要な問題に着手しました。十月に入り、初代議長が退職され、代議長に十一月九日根本行道氏が就任されました。この年の当初予算額は、三千八百九十八万六千五百円でありました。なお、付属する機関には、農業

日には勢司治雄氏が二代目教育長に就任しました。この年には納税組合二五が発足し三の未成地区に促進対策が進められました。事業では三和小学校の六四坪の増築が工費百七十四万円で完成、九月に役場庁舎の完成と同時に旧津沼庁舎より移転しました。この庁舎の総工費五百五十万となり新しい村の行政を行なう基盤としてその機能を充分發揮することになりました。また、この年は中根部落を中心とした大ひまや雪があり、農家収入に大きな被害があり、復旧対策に全力を挙げました。消防対策では消防動力ポンプ五台が補強され土木事業も三輪車の購入により、砂利の散布、利道改修に効果を上げ小貴、榎本線など実施した。

農業面では稲作の増産による減収、畑作収入の主体を占める甘藷価格の暴落は、農家の経済を苦しめました。有畜農業による経営改善を達成しようと養豚事業がすすめられ、本村が主催して行方郡内種豚共進会を開いた。また優良品種普及、保溫折衷苗代、病虫害防除、土地改良などを奨励し、その効果をあげるため事業に補助をするなど積極的な努力が続けられました。この年の当初予算額は、三千六百九十八万五千円でした。

日、五社指名入札により株式会社土木事業の中にも、小幡、行戸線三三〇坪、小幡、南原線三九〇坪、の改修に着手、トラックを購入して前年購入の三輪車と共に道路修繕に全力を尽し、成田の神田橋、小幡寄井橋、内宿大橋が補修や改修に計画されました。十月一日からは国民健康保険の事業が開始し、住民の健康保持を目的とする医療行政の基盤ができました。また、五月一日には新築設備費が不足五〇名の委員が委嘱されて、村の開発基本計画を作成することにいたしました。十一月に入り、六、七、八日の三日間津沼中学校において農業祭を実施、農産物、農機具が展示され、体験発表、生活改善などに ついて多面におよぶ行事に好評が寄せられ成功しました。なお、この頃より学校統合計画が漸次検討の段階に入って行きました。この年度の当初予算は、三千六百九十八万五千円でした。

日、五社指名入札により株式会社土木事業の中にも、小幡、行戸線三三〇坪、小幡、南原線三九〇坪、の改修に着手、トラックを購入して前年購入の三輪車と共に道路修繕に全力を尽し、成田の神田橋、小幡寄井橋、内宿大橋が補修や改修に計画されました。十月一日からは国民健康保険の事業が開始し、住民の健康保持を目的とする医療行政の基盤ができました。また、五月一日には新築設備費が不足五〇名の委員が委嘱されて、村の開発基本計画を作成することにいたしました。十一月に入り、六、七、八日の三日間津沼中学校において農業祭を実施、農産物、農機具が展示され、体験発表、生活改善などに ついて多面におよぶ行事に好評が寄せられ成功しました。なお、この頃より学校統合計画が漸次検討の段階に入って行きました。この年度の当初予算は、三千六百九十八万五千円でした。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

世帯員七割給付はさきにお知らせしたとおり昭和四十一年一月一日から実施されます。七割給付の実施については被保険者のみなさんにはつきのことと充分注意され協力下さるようお願いいたします。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

旧被保険者の有効期間は昭和四十一年三月三十一日迄になっていますのでそれまでは使用出来ませんがその場合世帯員は一部負担金を五割徴収されますので一割だけ損をする事になります。旧被保険者証を使用して一割負担金を五割徴収されても医療を受ける場合には従前どおり

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

一月一日より七割給付 国民健康保険の医療費

一、今度の世帯員七割給付は、全国一斉ではありませんので五割給付の町村もあり、事務の複雑化をきたすため世帯員七割給付に同意しない医療機関があるかも知れません。世帯員七割給付に同意しない医療機関で診療を受ける場合には従前どおり

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。

昭和三十一年 五月の村長選挙の結果、初代村長として、眞家妻之氏が就任し、助役に稲實林之助氏、収入役に山崎武雄氏がそれぞれ就任され、この時の職員総数は四十五人でした。また、議決機関としての議会は初代議長に斎藤操氏を選任し議員総数四十四名が、一丸となって新しい村づくりに力強いスタートをいたしました。